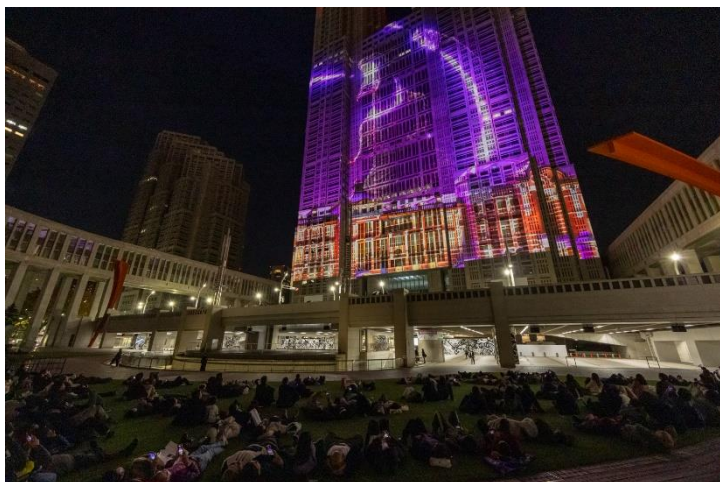


「ゴジラ」が登場する作品の第2弾「TOKYO GODZILLAs」の上映を 11月30日（土）より開始！ ～ギネス世界記録™に認定された「TOKYO Night & Light」～



©TOHO CO., LTD.



©TOHO CO., LTD.

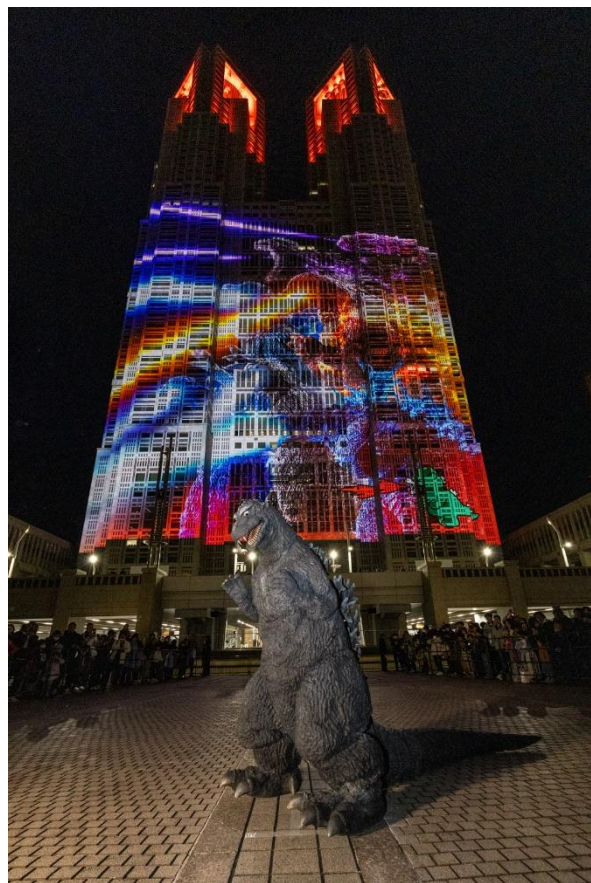
東京都では、夜間の観光振興の活性化に向けて、東京の夜を彩る新たな観光資源を作るため、代表的なランドマークである都庁第一本庁舎をキャンバスに光と音で多彩なアートを表現するプロジェクションマッピングを通年で上映しており、これまでに約43万人※の方にご来場いただいております。

今年の春に公開し、現在も大好評上映中の「ゴジラ」が登場する作品の第2弾「TOKYO GODZILLAs」の上映を、11月30日（土）より開始しました。

上映初日には、都民広場に初代ゴジラが登場し、訪れた多くの方とともに、初回上映のカウントダウンを行いました。国内外の観光客やゴジラファンなど多くの観覧者が訪れ、人気コンテンツならではの盛り上がりを見せていました。

都庁舎プロジェクションマッピング「TOKYO Night & Light」は、今年2月から上映を開始し、これまでに約43万人※が観覧に訪れており、東京の新たな観光スポットへと成長しています。

高い芸術性や世界をリードする技術・コンテンツ等によって生み出される「東京の夜を彩る新たな観光スポット」に、是非ご注目ください。



「TOKYO GODZILLAs」について

■ **上映開始日** 11月30日（土）

■ **上映時間** 土日・祝日：17時30分～／18時30分～／19時30分～／
20時30分～／21時30分～

※当面の間は上記の時間に上映します。詳細スケジュールはHPをご覧ください。

<https://tokyoprojectionmappingproject.jp/>



■ あらすじ

怪獣王ゴジラ70年の進化。『ゴジラ』から『ゴジラ-1.0』まで、歴代のゴジラが東京の街を襲う！都庁に現れるその姿が巨大なスクリーンに映し出され、時代を超えた迫力が観る者を惹きつける。最後に歴代ゴジラが一堂に会する圧倒的なフィナーレを見逃すな！



■ みどころ

● 生誕70周年の節目に歴代のゴジラが登場

“初代ゴジラ”として親しまれているゴジラ(1954)、『ゴジラVSデストロイア』に登場し“バーニングゴジラ”として知られるゴジラ(1995)、『シン・ゴジラ』で人気を博したゴジラ(2016)、そして最新作『ゴジラ-1.0』で世界中の注目を集めたゴジラ(2023)など総勢7体のゴジラが登場。是非、ゴジラ70年の軌跡をお楽しみください。

● 特撮とCGの融合で描く大迫力の完全オリジナル映像

前半パートは前作に引き続き、ゴジラスーツを用いて特撮とCGを組み合わせ、撮影を行い、後半パートはフルCGでゴジラが東京都内を蹂躞する映像を制作しました。特撮のリアリティとCGの最新技術を駆使した、時代を超える映像美は必見です。

● 白組と共に創り出す、かつてないゴジラ映像体験

本作では、前作で監督を務めた中川監督に加え、『シン・ゴジラ』や『ゴジラ-1.0』で映像制作を手掛けた白組が参加しました。ゴジラの迫力や恐怖を、よりリアルに表現された圧巻の映像体験をとくにご覧あれ！

■ ゴジラと新宿のつながり

昨年公開されたゴジラ生誕70周年記念作品『ゴジラ-1.0』が世界中で大ヒットするなど、ゴジラは日本が誇る世界的人気コンテンツです。新宿エリアや都庁舎はそんなゴジラと深いゆかりのあるスポットです。

『ゴジラ』（1984）では西新宿を舞台に、超兵器「スーパーX」がゴジラを迎え撃ち、激戦を繰り広げました。また、『ゴジラVSキングギドラ』（1991）では劇中に都庁第一本庁舎が登場しました。

2015年には、新宿区歌舞伎町に全高12mのゴジラヘッドが誕生し、ゴジラは新宿観光特使に任命されました。

夜間の観光振興の活性化に向けて

2023年版「世界の都市総合ランキング(森記念財団都市戦略研究所)」によると、東京は、ロンドン、ニューヨークに次いで総合第3位に位置するものの、「ナイトライフ充実度」では30位に位置しており、夜間観光の振興の活性化が重要です。

ロンドンやニューヨークのナイトタイム観光の夜間経済の規模は2兆円以上と試算。こうした効果は東京にも期待できるものであり、ナイトタイム観光の活性化は東京の国際競争力向上の「のびしろ」とも言えます。

こうした中、東京、ひいては日本の夜間の新たな観光資源として注目されているのが、高い芸術性や世界をリードする技術によって生み出される「プロジェクションマッピング」です。

都庁舎におけるプロジェクションマッピング「TOKYO Night & Light」は、令和6年(2024年)2月25日から開始し、これまでの間、海外からの方を含め、約43万人の方々にお楽しみいただいています(令和6年11月30日時点)。

海外都市における夜間経済の規模 ※1

		経済規模※2	雇用者数
ロンドン※3		177~263億ポンド (約2.3~3.4兆円)	72万3,000人
ニューヨーク※4	直接的な効果	191億ドル(約2.1兆円)	19万6,000人
	間接的な効果等を含む	351億ドル(約3.9兆円)	29万9,000人

※1 観光客による消費等に限らない夜間経済の規模

※2 ロンドンはGVA(粗付加価値)、ニューヨークは消費額を算出。日本円への換算は、出所資料リリース時のおおよその為替レートによる(ロンドン:1ポンド=130円、ニューヨーク:1ドル=110円)

※3 出所 LONDON'S 24 HOUR ECONOMY (LONDON FIRST, 2016年8月)

※4 出所 NYC's Nightlife Economy (The Mayor's Office of Media and Entertainment, 2019年1月)
フードサービス、バー、アート、コンサート等、スポーツ・レクリエーションの5セクターにおける経済規模等



資料出典

「東京の観光振興を考える有識者会議(令和6年2月13日)」会議資料より
<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/plan/tourism/kaigi/240213/index.html>

本取組は「最大の建築物へのプロジェクションマッピングの展示(常設)」としてギネス世界記録™に認定されています。